

異なる職種への転職の場合の記載例（編年体式）

- ◆ 異なる職種へ転職する場合、一般的には「未経験者」として扱われることになります。
- ◆ このため、①なぜ異なる職種（業種）へ転職しようとするのか、②応募先の職種・業種の仕事の内容を理解した上で応募していること、③応募先の職種・業種の仕事をこなせる能力・適性があることを説明しましょう。

職務経歴書

平成〇年〇月〇日

労働花子（印）

(090-1234-5678)

■志望動機

私は、これまで衣料品販売の仕事に携わってきましたが、母の介護を経験したことを契機に、介護職に強く関心を抱くようになりました。販売の仕事でも、お客様の満足な笑顔を見ることに大きな喜びを感じておりますが、介護職は、より頼りにされる存在として、一層大きなやりがいがあると考えたからです。

そうした中、残念ながら私の勤務する店舗が会社の事情により閉鎖されることとなり、私としても、この際、お客様個人の役に立つだけでなく、社会的にも大きな意義を持つ介護の仕事に就きたいと切に思うようになりました。

今回、研修制度が充実している貴法人が、資格・経験がなくとも可という条件で、介護職の求人を出されていることを知り、私もこれまでの職場経験で培った能力と思いやりの心で働かせていただき、貴法人の事業に貢献したいと思い、応募させていただく次第です。

■職務経歴

昭和〇年〇月～平成〇年〇月 株式会社〇〇 〇〇店勤務
(会社概要) 婦人服製造・販売、従業員数185名(うち〇〇店8名)
(職務内容) 婦人服の接客販売、レジ、商品ディスプレイ

平成〇年〇月～平成〇年〇月 〇〇株式会社 〇〇店勤務
(会社概要) 紳士服・婦人服販売、従業員数27名(うち××店6名)
(職務内容) 紳士服・婦人服の接客販売、レジ、商品ディスプレイ
売り上げ集計、商品の発注、在庫管理
お客様からの苦情・要望への対応

■活かせる能力

お客様の立場に立った観察力・コミュニケーション能力・接客の技術があります。

私は、接客販売業務の中で、お客様に喜んでいただくため、お客様のおっしゃることに真摯に耳を傾け、また本音を引き出し、それに対応することに心を砕いてまいりました。このような観察力・コミュニケーション能力・接客の技術は、介護の職場でも十分に役立つと考えております。

パソコン(Excel・Word)を実務で使いこなせます。

売り上げ集計や在庫管理のため、パソコン操作(Excel・Word)を日常的に行っており、こうした能力も業務のお役に立てるものと思います。

■自己PR

体力には自信があります。

定期的にスポーツジムに通い、体力に自信があります。

母の介護を経験しています。

私は、業務として介護を行った経験はありませんが、母の介護を3年程経験しており、自ら食事や排泄の世話などを行ったり、ショートステイサービスの方々の業務を拝見するなどにより、介護業務の厳しさも理解できていると思います。

※実際には上下左右に余白を十分とります。1枚に収まらない場合は複数枚でも差し支えありません。